

留学生対象懸賞論文 FAQ

当財団へ照会のあった事項等を中心にFAQを作成しました。

今後も、情報提供を行っていきます。

Q 表彰式への出席は必須条件でしょうか？

A はい、入賞者は必ず表彰式（2018年1月19日（金）13:00～19:00）へ出席する必要があります。

<ご参考>応募資格について

1. 日本国内の大学・大学院に在学し、在留資格が「学生（留学）」である方
2. 国籍：原則として弊財団が研修対象とする国
3. 表彰式時点で在学し、表彰式に出席できること

Q 12月に日本での留学を終えて自国に帰ります。応募可能でしょうか？

A 表彰式開催時点（2018年1月19日）まで日本の大学・大学院に在籍していることが応募条件です。申し訳ございませんが、ご質問のケースですと応募不可となります。

Q モンゴル国籍です。財団の応募規定には記載されていませんが応募は可能でしょうか？

A モンゴル国籍の留学生は、応募可能です。当コンテストの応募規定には、これまで当財団が主催する研修に参加実績の多い国を中心に例示しています。

当財団は、「開発途上にある海外の地域に対する経済協力を目的とする」事業を活動の柱とし、正しい保険思想の啓発普及を図るとともに保険事業の健全な発展にひろく寄与することを目指しています。このような趣旨から、対象となる国については、制限させていただくことがあります。

同様の質問を下記の国の方々からいただきましたが、応募可能です。

アフガニスタン、ガーナ、コロンビア、シエラレオネ、チリ、ナイジェリア、ネパール、パキスタン、バングラデッシュ、ブラジル、ミャンマー、ラオス

判断に迷う場合は、当財団にご照会下さい。

（FALIA 懸賞論文担当：essay@falia.jp）

Q 論文に図表やグラフを挿入する場合は字数としてカウントされますか？

A 図表やグラフは字数としてカウントされません。ただし、論文の展開はあくまでも文章を中心とし、図表やグラフは補足的な役割としてご使用下さい。

＜ご参考＞字数制限

日本語論文…4,000 ～12,000 字

英語論文…4,000 ～5,000 単語

Q 参考文献や引用はその旨を記載しなければいけませんか？

A はい、参考文献や引用は必ず明記して下さい。公刊された論文や書籍ばかりでなく、インターネット上の情報も同様です。当財団では、ご応募いただいた論文はすべて、剽窃チェックソフトにて確認させていただきます。参考文献や引用の表記方法がわからない場合は、「APA方式」等の代表的なスタイルを参考にするとよいでしょう。

Q 論文を書く際に、FALIA 指定のテンプレートはありますか？

A ご応募にあたっては、当財団が指定するような論文のテンプレートやフォーマットは特にございませぬ。書式などが分からない場合は、「APA方式」等の代表的なフォーマットを参考にするとよいでしょう。

また、論文を提出する前には、日本語で論文を書く場合には日本語を母国語とする人に、英語で論文を書く場合には英語を母国語とする人に、「校正、校閲」してもらうことをお勧めします。

Q グループでの応募は可能でしょうか？

A グループでの応募は可能です。ただし、その場合はグループ全員が応募条件を満たしている必要がありますのでご注意ください。



FALIA 公益財団法人 国際保険振興会

The Foundation for the Advancement of Life & Insurance Around the world
[Public Interest Incorporated Foundation]